

夜会

第十八回

喜多流

HIRAGAKAI

MOCHIZUKI

能望月 内田成信

狂言 昆布売 山本泰太郎

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

チケット(全席自由) ¥10,000 14:00開演(13:00開場)

お申し込み 喜多能楽堂 TEL 03-3491-8813 (10:00~18:00)

内田安信 TEL 03-3722-4308

2017 12.3 SUN

第十八回

柀会

喜多流

おはなし 森山暁子(江戸文化研究者)

仕舞

八島 内田貴成
半蔀 内田安信

狂言

昆布売 昆布売 山本泰太郎 大名 山本則孝

仕舞

浮舟 友枝昭世

能望

月 望月秋長 森 常好
望月の從者 山本凜太郎

後見 塩津 哲生 中村邦生
友枝 雄人

大鼓 國川 純 太鼓 観世 元伯
小鼓 曾和 正博 笛 藤田 貴寛

地謡 友枝 真也 長島 茂
金子 敬一郎 出雲 康雅
狩野 了一 栗谷 能夫
大島 輝久 栗谷 明生

昆布売(こぶうり)

召使いを連れずに外出した男が、行きずりの若狭(わかさ)の昆布売(シテ)を刀で脅し、むりやり自分の太刀(たち)を持たせる。腹にすえかねた昆布売は、男が油断したすきに太刀を抜いて逆に脅し、小さ刀(ちいさがたな)を取り上げたうえ、昆布を男に押し付けて売らせる。売り声にさまざまな節をつけて謡い舞わせたすえ、商売繁盛の文句を男に謡わせておいて、昆布売は返す約束の刀を持ったまま逃げて行く。

望月(もちつき)

信濃の国(長野県)の住人で安田の荘司友春の家臣、小沢の刑部友房は、所用があって都にいる間に、主人の友春が望月秋長と口論の末殺害されたことを聞き、直ちに帰国の途についたものの、自らの命も狙われていることを耳にしたのため、帰国もできず、近江国(滋賀県)の守山の宿で甲屋という旅館を設けて暮らしていた。また、友春の妻は、夫の討たれた後は寄るべもなかったため、一子花若の手を引いて都に上ろうと故郷を出で、守山の宿にたどりつき、甲屋に泊まることになった。こうして主従は奇しくも再会し、涙を流して喜びあった。そこに計らずも敵の望月秋長が、そうとも知らないで、都から故郷に下る途中で甲屋に宿を取ることになった。その夜、旅の徒然をなぐさめると称し、友春の妻は盲御前として謡を謡い、花若は鞆鼓を打ち、自らも獅子舞を舞って興を添え、望月の油断するところを、敵を討って、めでたく本望をとげた。

◆会場

十四世喜多六平太記念能楽堂
(喜多能楽堂)

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

〒114-1002-1

東京都品川区上大崎4-6-9

TEL 03-3491-8813



◆主催



柀会
内田 安信
内田 成信